

# 校内研究計画

甲州市立塩山北中学校

## 1 学校課題

近年わが国は、情報化、IT革命、科学技術の高度化、国際化など、目まぐるしい変化を遂げ、社会情勢は大きく変化した。このような社会情勢に伴い生徒を取り巻く環境も大きく変化しており、生徒の生活の状況は大きく変わりつつある。その社会情勢を踏まえ、今後の教育課題について考えてみたとき、激しい社会の変化にも、柔軟に適応できる能力を育成することがまずは必要であると思われる。社会の変化に適応できる力、すなわち自らが進んで問題を解決し、主体的に活動できる能力をすべての生徒に身に付けさせることが、学校教育の今日的な課題である。

本校は大菩薩山麓の扇状地に広がる農村地帯であったが、近年、専業農家が減少し、兼業農家や第3次産業の占める割合が多くなり、さまざまな職種の人々が増え、地域社会も少しずつ変化している。当然生徒たちの生活も消費型傾向が強くなり、価値観の違いが見られるようになってきている。

本校は真面目で素直な生徒が多い。言われたことを何とか自分のものにしようと努力する生徒が多く、その成果が多方面において出ている。それは同時に指示待ちの傾向があるとも言える。自分で考えて行動するという面が弱いように思われる。また、本校も少子化が進み、1学年・2学年は単学級である。3つの小学校から生徒が来ているが、どの小学校も小規模で単学級であったため、人間関係が固定化しつつある。その中において互いに切磋琢磨しようという姿勢や、新しいことに挑戦しようという意欲に欠けているように思われる。

## 2 研究主題

### 心豊かで主体的に活動する生徒の育成

～表現力の育成を図るための言語活動の工夫を通して～

## 3 主題設定の理由

近年わが国は、新しい知識・情報・技術が政治・経済・文化をはじめ、社会のあらゆる領域の基盤として飛躍的に重要性を増す「知識基盤社会」の時代と言われている。知識基盤社会においては「課題を見出し解決する力」「他者や社会、自然や環境と共に生きること」など、変化に対応する能力が求められている。このような時代において子どもたちに必要な能力が「生きる力」であり、それを支える要素として「思考力・判断力・表現力」等の育成が重要視されている。

本校の生徒は真面目で学習への取り組む姿勢はよく、朝読書や授業に真剣な態度で臨んでいる。与えられた課題をこなし、自分の役割を責任もって果たすことができる生徒が多い。基本的に穏やかで、のんびりした生徒が多いと言える。しかし、授業や行事などの様々な学習活動の中で、自分の考えを発表することに対して消極的である。小集団なため、人間関係が固定化していることもあり、周囲の様子を見ながら互いに牽制している感もある。自らが課題意識をもって意欲的に取りくんだり、進んで自分の意見を発表しようという点も不十分なように思われる。また、その場に応じた適切な言葉を使うことが苦手な生徒も多く見られる。総じて、知的活動（論理や思考）の基盤、コミュニケーションや感性・情緒の基盤となる言語力に課題があるように思われる。

そこで、教科・総合・道徳と学校教育のあらゆる場面で、言語の役割を再認識するとともに、表現力を育成するための言語活動を推進する必要があると考えた。生徒が言語を用いて、意欲的に表現することができる言語活動のあり方について実践的な研究を推し進めていきたい。そして、各教科等の特性に応じた言語活動を行い、その教科等の目標や内容をよりよく実現させるとともに、円滑なコミュニケーション行動がより良い他者理解にもつながることを認識させたい。自分の考えや思いを多くの場面で、より適切な言葉で正しく相手に表現することができるようになれば、確かな知性と心豊かな人間性を持ち、より主体的に活動する生徒の育成につながるものと考え、本主題を設定した。

## 4 研究の具体的内容と方法

### (1) 表現力を高める言語活動の研究と実践

- ・本校のめざす表現力のある姿にせまるために、教科指導における具体的な手段をさぐり、全職員が共通理解し実践する。

- ・表現する力を高めるための具体的な言語活動の検討・実践
- ・教科横断的な活動を取り入れる。
- ・発表（読むこと・まとめること）ルールの設定と発表方法の工夫
- ・学習形態の工夫 多様な考えを引き出す。自分の考えを積極的に伝える。
- ・内発的な意欲を引き出すためにQ Uを実施し，分析していく。  
（より良い集団作りのためにも有効活用していく）
- ・研究授業を通して実践検証する。

(2) 日常生活における言語活動を支える力の育成に関する研究（塩北ライフの実践）

- ・あいさつ，授業規律，生活規律の徹底
- ・部活動や集会等におけるあいさつの仕方，返事の徹底
- ・言語環境の整備（掲示物など）
- ・その場に応じた適切な言葉遣いの徹底
- ・日々の言語活動の充実（スピーチ，掃除の反省会，ライフ）

(3) 学力向上に関する研究と実践

- ・少人数授業の実践（英語・数学） ・*ティムティム*の実践（数学・英語）
- ・新学習指導要領実施による評価規準の検証，修正
- ・基礎，基本の重視，基礎学力の向上に関わる研究と実践  
北斗タイムの実践，ランクアップテスト実施（毎週木曜日），夏季学習会
- ・読書活動の推進・国語力向上に関する環境づくりの研究
- ・家庭学習の定着（家庭学習の手引き）

(4) その他

- ・開かれた学校づくりに関すること（学校評価についての実践と検討）
- ・道徳教育の継続研究，実践
- ・地域の連携校（大藤小，神金小，玉宮小，塩山北中）とのネットワーク
- ・キャリア教育の推進（職場体験学習）

5 年間校内研修計画

研究主任

佐野 厚子

月	研究内容	教科	担当者	学年	T.C
4	・研究主題・内容・方法・組織・計画について ・家庭学習について		研究主任 担任	全学年	
5	・評価についての確認 ・研究主題・仮説・内容・組織の決定 ・北斗タイム ・Q U実施	5教科	研究主任 研究主任 研究主任 担任	全学年 全学年	
6	・表現力を高める指導法の研究と実践	全教科	研究主任		
7	・北斗タイム ・学力向上の取り組みについて	全教科 全教科	研究主任 全員	全学年 全学年	
8	・第1回ブロック研究【隣地研修】		全員		
9	・表現力を高める指導法の研究と実践	全教科	研究主任		
10	・命の講演会 ・研究授業 ・北斗タイム	5教科	養護教諭 研究主任 研究主任	全学年	
11	・Q U実施 ・第2回ブロック研究【学習会】 ・教育講演会（11月16日） ・北斗タイム	全教科	担任 全員 研究主任	全学年 全学年	
12	・学校評価の実施 ・研究授業		教務主任 研究主任	全学年	
1	・第3回ブロック研究【小学校授業参観】		全員		
2	・北斗タイム	全教科	研究主任	全学年	
3	・研究の成果と課題の確認・研究のまとめ ・研究集録の作成	全教科	研究主任 全員		

